

TOEFL ITP®テスト

新1年次生の皆様へ

筑波大学で掲げる「国際性の日常化」と「世界を学びの場に」の構築に向け、

TOEFL ITP® テストを実施します！

TOEFL は世界で最も広く受け入れられている英語能力試験です。自身の英語力の把握と語学力アップ、さらに「国際性の日常化を体現する一員・グローバル社会で活躍できる人材」を目指す第一歩としませんか！！

◆ 平成 27 年度の予定

試験実施日：平成 27 年 5 月 23 日(土)

実施時間：10:00~13:00 (予定)

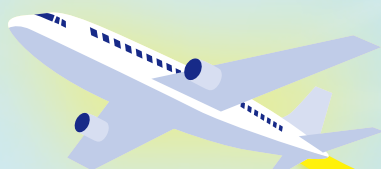
対象者：学群1年次生

(全員必ず受験してください。
ただし、英語が母語の者は対象外です。)

受験料：無料 (大学が全額負担します。)

留意点：

- ◆ 申し込みは不要です。
(学群1年次生全員を対象としています。)
- ◆ 試験室等詳細につきましては、5月中頃掲示にて周知しますので、ご注意ください。
- ◆ 受験番号は学籍番号になりますので、学生証を必ず持参してください。








TOEFL® テストとは…

TOEFL テストは Test of English as a Foreign Language の略称で英語を母語としない人の英語能力を測るテストとしてアメリカの Educational Testing Service (ETS) が作成しています。

世界 165 カ国で実施されており、受験者数は世界で 100 万人、約 9,000 以上の団体が TOEFL スコアを活用しています。TOEFL テストは現在の英語の能力をスコアで表します。

TOEFL テストは以下の 3 種類あり、筑波大学では、このうち、TOEFL ITP テストを、学群 1・3 年次生対象に実施しています。

TOEFL iBT Internet-Based Testing 	TOEFL® PBT Paper-Based Testing 	TOEFL ITP Institutional Testing Program 
コンピューターによる受験 現在の日本における公式な TOEFL テスト	マークシート形式での受験。主に TOEFL iBT が実施されていない国、地域で実施されている公式な TOEFL テスト	TOEFL の団体向けプログラム。TOEFL PBT と同じマークシート形式での受験
Reading、Listening、Speaking、Writing の 4 セクション	Listening、Structure、Reading の 3 セクション + Writing	TOEFL® PBT と同じ Listening、Structure、Reading の 3 セクション
スコアは 0 ～ 120 で表示	スコアは 310 ～ 677 で表示、Writing はトータルスコアと別に 1 ～ 6 で表示	スコアは TOEFL® PBT と同様に 310 ～ 677 で表示

※ TOEFL® PBT の日本での実施は未定

※各 TOEFL テストのスコアは相関関係があります (例 : TOEFL iBT 61 = TOEFL® PBT 500 = TOEFL ITP 500)



TOEFL® テストを受験する「意義」

本学では、「国際性の日常化」と「世界を学びの場に」の構築に向け、2013 年 4 月からグローバル・コモンズ機構を設置し、グローバル社会で活躍できる人材の育成に向けた施策に取り組んでいます。

グローバル人材を目指す学生が基本的に身に付けるべき外国語力・コミュニケーション力を養うために、グローバル科目として『TOEFL 演習』が開設され、TOEFL550 点以上を目指し自身の語学力をアップする尺度として新 1 年次生全員を対象に TOEFL ITP テストを実施しています。

TOEFL の文章は、英文の論理的な展開、考え方で構成されています。広い意味で考えると、それはヨーロッパやアメリカでの交渉、商談といったビジネスの場や研究成果の発表、論文の作成といったアカデミックな場など、発展的な形で英語を活用するための根本となっているものです。この特徴をコンパクトにまとめたものが TOEFL です。TOEFL 以外にも英語のテストは数多くありますが、TOEFL は大学生としての“入口”のテストであり、また、将来に向けた“出口”のテストでもあります。

TOEFL を通じてこのような論理的な展開、考え方を学び、将来に生かすためにも、新 1 年次生の皆さんが、TOEFL ITP 550 点以上を目標に、受験をする意義があります。

なお、TOEFL ITP は、全国のいくつもの大学で導入されており、多くの大学生が受験しています。また、近年は大学院入試に活用する大学が増えており、試験に慣れるという点でも受験する意義があります。



TOEFL ITP® テスト

Listening、Structure、Reading の 3 セクションで構成され、スコアは 310 ～ 677 点で評価されます。個人別のスコア票が発行されますが公式認定証ではありませんので、海外留学のためには使用できませんが、TOEFL iBT へのスコアの読み替えが可能なことから、TOEFL iBT 受験のためのプレ試験としても活用できます。

TOEFL ITP[®] テスト試験内容

Section 1 Listening Comprehension (約 35 分・50 問)	Part A：2 人のスピーカーの対話を聞き、質問に答える。 Part B および Part C：Part A より長めの会話、または、ショートトークを聞き、それぞれいくつかの質問に答える。
Section 2 Structure and Written Expression (25 分・40 問)	標準的な書き言葉の表現や文法の知識を測定。 前半は下線部に正しい語句を補い文章を完成させる形式、後半は与えられた文章の中で文法の誤りを指摘する形式。
Section 3 Reading Comprehension (55 分・50 問)	英語圏の大学で授業に使用されるような文章を用い、読解力を測定。問題内容は特に専門知識を必要とするものではなく、様々な学術分野から出題。
TOTAL (約 115 分・140 問) (最高点) 677 点 (最低点) 310 点	※ TOEFL ITP [®] テストは、ペーパー版 TOEFL テスト (PBT) の過去問題を再構成して使用しているため、そのスコアは他の TOEFL [®] テストと高い相関関係にあります。



TOEFL[®] テスト、学習方法は？

TOEFL テスト公式情報を発信する国際教育交換協議会 (CIEE) が、Web サイト内で情報を発信しています。TOEFL ITP テスト「受験者の皆様へ」のページからテスト内容やスコアの意味、勉強方法などを確認できます。サンプル問題にアクセスして、どんな問題か確認してから本番に臨みましょう！
また、スチューデント・コモンズ (第 1 エリア 1A 棟 203) にも、英語学習教材を取り揃えています。本学の学生には、貸出も行っていますので、是非活用して下さい！

★ TOEFL ITP テスト受験者向けページ

<http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/testtaker.html>

動画チャンネルも配信しています。(英語)

「TOEFL ITP」で検索すると、世界中から投稿された学習のヒントやリスニング素材など盛りだくさんです。

★ TOEFL TV Channel

<http://www.youtube.com/user/TOEFLtv>



スチューデント・コモンズと英語学習教材



TOEFL[®] テストは関係ない！既に受験したが・・・

「留学しないから」「ビジネス英語を身につけたいから TOEFL はあまり関係ないと思う…」と思ってはいませんか？

国際的視野に立って英語力を測るなら、世界 165 カ国で実施されている TOEFL が有益です。将来、多国籍企業、外資系企業、国際機関への就職を目指す方、日本企業でも海外部門で活躍したい、海外研修制度を利用して海外赴任したい、社内制度を利用して大学院で勉強したい、という方は、TOEFL ITP を受験してみましょう。

また、既に TOEFL を受験したことがあるという方もこれを機会にもう一度受験してみてください。最新の自分の英語力が把握できるので、今後の英語学習に大きく役立つことと思います。



どれぐらいのスコアが必要？大学生に求められる英語力？

海外留学 (学部レベル)	TOEFL [®] PBT / ITP 500 点 (TOEFL iBT61 点) 以上
国内大学院進学	TOEFL [®] PBT / ITP 500 点 (TOEFL iBT61 点) 以上
海外留学 (大学院レベル)	TOEFL [®] PBT / ITP 550 点 (TOEFL iBT80 点) 以上
ビジネスで「役に立つ」レベルとして目標とするレベル	TOEFL [®] PBT / ITP 550 点 (TOEFL iBT80 点) 以上
ビジネスの専門分野において標準となるレベル	TOEFL [®] PBT / ITP 600 点 (TOEFL iBT100 点) 以上

※卒業してからも英語を使っていくことを考えると、まずは大学生のうちに 500 点 (iBT61 点) 取得を目指してみましょう。

TOEFL テストスコア能力表

※団体向け TOEFL ITP テストのスコアはペーパー版 TOEFL PBT テストスコアにそのまま置き換えることができます。

インターネット版 TOEFL テスト (0 ~ 120)	ペーパー版 TOEFL テスト (310 ~ 677)	ガイドライン	必要と される スコア	TOEFL テストスコアデータ	
				インターネット版 TOEFL テスト (0 ~ 120)	団体向け TOEFL テスト (310 ~ 677)
100-120	600-677	ビジネスや日常生活、大学生活を送る上で不自由なくコミュニケーションができる。テレビやラジオ、会議や講義で普通に話すネイティブスピーカーの言葉も困難なく聞き取れる。ビジネス、生活面、大学の授業等で支障なく様々な文章を読んだり、話を聞いたりすることができ、ネイティブスピーカーと遜色なく議論もできる。またプレゼンテーションも充分に行え、そこでの議論や意見を聞いて、もう一度自分の考えを組立て直すことも可能。読み手を意識した、正確でわかりやすい論理的文章を書くことができる。米国のトップレベルの大学(院)入学に求められる高度な英語能力を保有している(例:ハーバード、スタンフォード等)			
79-100	550-600	ビジネスや日常生活、大学等の場面で、自分の分野以外に関する事柄も理解することができ、個人差はあるが、相手とジョークを交えつつ、柔軟にコミュニケーションを取ることができる。テレビやラジオ、会議や授業で普通に話すネイティブスピーカーの言葉も聞き取れる。議論や様々な話題にも充分についていけ、質疑応答も可能。様々なトピックに関して、よく構成された正確な文章を書くことができる。	大学院留学	81	
61-79	500-550	日常生活でのコミュニケーションはほぼ支障はない。ビジネスや大学等の場面では、自分の専門分野であれば、具体的・抽象的なトピックにおいて、技術的な事柄も含め、その要点を十分に理解できる。会議や授業で話題になっていることに對し、相手を見て具体的な例を挙げて自分の考えを説明することができるが、語彙の部分で不足を感じることもある。自分の興味のある題材・話題に関して明確・詳細な文章を書くことができる。	学部留学	70	
45-61	450-500	ビジネス、学校、日常生活において、一般的によく知られた事柄に関しては文面や話の中でその要点をつかみ、自分の考えを発信することも可能。通常の日常生活に支障はない。また自分に興味のあること、知識のあることに関しては、巧拙の差はあるが自分の考えをまとめてプレゼンを行ったり、複雑ではない具体的な文章を書くことができる。		世界の受験者の平均点	463.5
32-45	400-450	日常的なこと、仕事に関する簡単な文章を読むことができる。通常の会話で、自分と繋がりが深いもの(家族、買い物、自分の住んでいる所、仕事、専門)に関して、簡単な言葉でコミュニケーションをすることが可能。また、「Like」「But」「Because」のような接続詞を使って簡単な文章を書くことができる。		日本の受験者の平均点	
19-32	350-400	日常よく使われる表現や基本的なフレーズを用いて、必要最低限のコミュニケーションができる。身近なこと(自己紹介、どこに住んでいるか、自分の知っている人、持ち物等)であれば質問をしたり、答えることも可能である。ゆっくり話してもらったり、人の手助けを借りて、相手と意思の疎通が可能。短い文節で単純な文章を書くことはできる。			日本の大学生受験者の平均点

☆上記のガイドラインは CIEE 独自で作成されたものであり、おおよその目安を示したものです。本資料の引用・転載を禁じます。
 ☆TOEFL テスト主催団体である米国 ETS は上記のようなガイドラインは作成していません。
 ☆評価は各自の学習状況や、環境によっても異なります。また、各利用団体のカリキュラム等によっても異なる場合があります。
 ☆米国の大学(院)入学に関して、あるいは日本の大学や機関・団体が示すガイドラインも各々異なりますので、実際に要求されるスコアは各自で確認が必要です。
 ☆スコアの有効期限はテスト日より2年間であり、それ以降時間が経過した場合、英語力は変化することをお含みおきください。

*参考: Test and Score Data Summary for TOEFL iBT® Tests and TOEFL® PBT Test January 2012-December 2012 Test Data TOEFL ITP 平均点 (April 2012-March 2013 Level 1, Level 2)



TOEIC との相関関係は？

TOEIC と TOEFL の開発元である ETS は、以前は TOEIC とペーパー版 TOEFL PBT の換算式を公開していましたが現在その換算式は公開されておらず、ETS の公式資料からは一切削除されています。このため、以下に示した換算表は、以前 ETS の公式資料にあった「TOEIC・TOEFL スコア換算式」を基に作成した TOEFL ITP と TOEIC の換算表ですので、あくまでも参考情報となることにご留意ください。

※ スコア 換算式

$$\text{TOEIC スコア} \times 0.348 + 296 = \text{TOEFL スコア}$$

TOEFL ITP	330	367	400	437	470	487	503	523	540	550	557	573	610	640
TOEIC	100	200	300	400	500	550	600	650	700	730	750	800	900	990